

# 第 2 9 期 事 業 報 告

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

株式会社 エヌエイチケイプラネット

## 1 会社の現況に関する事項

### (1) 事業運営の経過及び成果

関連団体の不祥事を機に、当社は第29期(平成28年度)を「内部統制元年」と位置付け、ガバナンスの強化に会社を挙げて取り組みました。常勤監査役を初めて任用したほか、NHKから出向者を本社経営企画室に受け入れ、内部統制の強化に向けた様々な施策に取り組みました。このうち、当社独自の内部監査機能としての取り組みである「支社間相互モニタリング」を四国、東北両支社で実施し、業務プロセスを検証する「ウォークスルー」を近畿総支社で行いました。懸案であった「経理事務処理要領」を策定し、本社と(総)支社の間で経理事務処理の統一化を図ったほか、必要な規程類の整備にも引き続き取り組みました。また、本社と4つの(総)支社を対象に行われたNHKの内部調査において、指摘された事項については全社で共有するなど、内部統制の強化につなげました。当期は「下請取引調査」をめぐり、公正取引委員会から口頭による指導を受け、一部支社に対しては「働き方」をめぐって労働基準監督署からは是正と改善を求められました。いずれについても結果を全社で共有し、「働き方」については全社共通の取り組みを具体的に策定しました。

一方、第29期もNHKの地域貢献の役割を担う関連会社として、地域の放送局と連携しながら番組制作とイベント事業の両面で積極的な事業展開を図りました。NHKの全体最適の深化に合わせた本社受託番組の増加や地域におけるイベント事業の委託拡大の試行も継続され、事業は順調に推移しました。この結果、関連団体から受託する事業イベントへの純額方式拡大の影響などにより、前年度には及ばないものの、当期の売上高は70億244万円、当期純利益は7,258万円の実績を確保しました。

番組制作ではNHKからの委託番組として「うまいっ!」「人生デザインU-29」「あさイチ ピカピカ☆日本」「バラエティ生活笑百科」などを地上波で、「釣りびと万歳」「食材探検 おかわり! にっぽん」、被災地復興支援番組の「きらり! えん旅」をBSプレミアムでそれぞれ制作・放送しました。また、国際放送でも「Core Kyoto」「J-Trip Plan」などの定時番組を受託しました。さらに「特集きらり! えん旅 八代亜紀・コロク 熊本へ」や「のんびりゆったり路線バスの旅 スペシャル」などの特集番組も手掛け、当期も地域情報の全国及び海外発信に取り組みました。一方、地域放送においても引き続き、特集番組やニュース・情報番組を積極的に受託し、各地域拠点局の要請に応えました。

イベント事業では拠点局から「地域貢献イベント」をはじめとする業務を受託したほか、NHKグループが行う特別展「始皇帝と大兵馬俑」、大河ドラマ特別展「真田丸」などの展覧会・美術展、幼児向けコンサートなどの地域展開を担いました。また地域放送局の業務支援として「おかあさんといっしょ」「BS日本のうた」をはじめ、様々なイベントを受託しました。自主事業では文化庁が主催し、京都で実施した東京2020文化プログラムや「国民文化祭あいち2016」をはじめ、地域で実施する公共性の高いイベントや映像制作など、各種事業に携わりました。

## (2) 各支社別の概況

### (本社)

各(総)支社と連携した全中定時番組「うまいっ!」「あさいち・ピカピカ☆日本」のほか、新たに「あさいち・JAPAなび」を受託しました。また、BSプレミアムの定時番組「釣りびと万歳」「食材探検 おかわり! にっぽん」、被災地復興支援番組の「きらり! えん旅」などを制作しました。この他、熊本地震を機に「特集きらり! えん旅 八代亜紀・コロケ 熊本へ」を提案・制作し今後に繋げました。地域放送では首都圏向けの昼前情報番組「ひるまえほっと」メインコーナーを新たに受託しました。

イベントでは「公開復興サポート 明日へ」の東京事務局を担い、東北支社と連携して実施しました。

### (近畿総支社)

番組では全国放送として、趣味・実用番組の「きょうの料理」「すてきにハンドメイド」「公開・俳句王国がゆく(四国)」「歴史秘話ヒストリア」「助けて! きわめびと」、のほか、中継「五山の送り火」を制作しました。芸能番組は「バラエティー生活笑百科」「日本の話芸」「上方落語の会」「ミュージックポートレート」のほか、劇場中継として「新春宝塚スペシャル～レビュー誕生90年～」「京の冬・顔見世大歌舞伎」「文楽・新編西遊記」を制作しました。地域放送は、「ぐるっと関西おひるまえ」「じもてい愛情マップ みんな すきやねん!」「ルソンの壺」「ひめポン(四国)」「えかこと・旅グルメ(四国)」のほか、地域貢献イベント関連番組「クイズ! 大河ドラマ真田丸の秘密」「それ行け! 俳句キッズ(四国)」等の特集番組も制作しました。

NHKからの委託事業は近畿・四国ともに年度計画に基づいて着実に実施するとともに、「ニュース映像・番組映像のデータベース化」も年間を通して円滑に業務を実施しました。

自主事業のイベントは「市場まつり」「ムムム文楽シリーズ」「中山ワンダフルフェスタ19」「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」等を実施し、映像制作は「特別展 真田丸展示映像」「兵庫県政150周年記念映像等制作」「知恩院御影堂解体修理記録映像」等を手掛けました。展覧会は「宮川香山展」「安野光雅 御所の花展」等のほか、NHKプロモーションの巡回展などを開催しました。NHK大阪ホールの管理・運營業務は、今年度も安全・安心なホールとして大きなトラブルもなく実施しました。

### (中部支社)

番組は全国放送として「超絶 凄ワザ!」や「釣りびと万歳」「うまいっ!」、また事務局を担当した「路線バスの旅」などを制作したほか、国際放送向けに「J-TripPlan」を制作しました。地域放送は昼前情報番組「さらさらサラダ」、日曜Tube、音楽ライブ番組「Uta-Tube」、報道番組の「ほっとイブニング」「ウィークエンド中部」のほか、「第14回全日本学生落語選手権策伝大賞」などを制作しました。

受託事業では、名古屋局会館公開「きてみて体感! NHKイベント」をはじめ、地域貢献イベント「ネイチャーコンサート」「音コン愛知県コンクール」「ナゴヤパピママフェスティバル」、地域局支援業務として「音コン」や「のど自慢」「新BS日本のうた」などを手掛けま

した。

自主事業は中部支社の28年度の3大事業である「あいちトリエンナーレ2016」「国民文化祭あいち2016」「山形県東根市PFI事業」のほか、「ワンワンといっしょ！夢のキャラクター大集合」「東儀&古澤&Coba全国ツアーコンサート」などを実施し、メディア関連では日本遺産「信長のおもてなし」の映像化事業、「防災ほっとメール」「地域映像アーカイブス事業」なども手掛けました。

#### (中国支社)

番組では「プロフェッショナル仕事の流儀 プロサッカー監督 森保一」、「英雄たちの選択」「サキどり」などの全中番組を制作し、国際放送向けに「J-Trip Plan」「トレインクルーズ」、また、地域放送向けに昼前の情報番組「ひるまえ直送便」や、金曜夜間の「フェイス」、「プロ野球広島東洋カープセリーグ優勝関連番組」などを制作しました。

イベントでは、地域貢献イベント「ULTRA神楽」「フレフレ！リオオリンピック応援広場」「ひろしまフラワーフェスティバル」などを受託し、自主事業では、「N響・福山公演」「織田幹雄映像制作」などのイベントやソフト制作を手掛けました。

#### (九州支社)

番組では「ETV特集 水俣病 民衆史」、特集「有田焼400年世界を魅了する日本の美」などの全中番組を制作し、地域放送では昼前情報番組「はっけんTV」、日曜朝の旅番組「アサタビ！」、熊本地震から半年特番「ガレッジa GO！GO！秋の九州絶景ドライブ」などを制作しました。

イベントでは地域貢献イベント「ダイスキ！フェス」、熊本地震関連イベント「あすへつなげるライブ」を受託し、ソフト制作事業で、「有田焼創業400年記念事業VP」を他の関連団体から受託しました。自主事業では、「京築神楽特別公演」などのイベントを実施した他、特別展「始皇帝と大兵馬俑」広告・民放スポット制作を手掛けました。

#### (東北支社)

番組では全中番組として、震災復興番組のあさいち「アッキーがゆく“復興の地”2017」やETV特集「そしてイナサは吹き続ける」などを制作したほか、地域放送では、夕方のニュース情報番組「てれまさむね」、昼前情報番組「ひるはび」などを制作しました。イベント事業では、震災復興支援関連で「きらり！えん旅」ミニコンサート、郡山市と陸前高田市でそれぞれ行われた「公開復興サポート 明日へ」などを実施しました。

自主事業では、大河ドラマ「おんな城主直虎」のメイキングビデオや「東北地域づくり協会50年記念講演」などのソフト制作を手掛けました。

#### (北海道支社)

番組では「さわやか自然百景」「ワイルドライフ」などの全中番組、地域放送として「おはよう北海道」、昼前情報番組「つながる@きたカフェ」、夕方の「ほっとニュース北海道」でのコーナー「ほっと中継」を制作しました。また、金曜夜間で「穴場ハンター」、日曜午後の『北海道LOVEテレビ』で「いくぞ～！北の出会い旅」などを制作したほか、台風10号の際は初めて「災害ライフライン放送」を実施しました。

イベント事業では「NHKのだ自慢」「新・BS日本のうた」のほか、地域貢献イベントの「札幌×Nコン」や、「行くぞー！北の出会い旅」と「穴場ハンター」の番組をコラボレーションした企画「NHK行くぞー！祭り」を石狩浜で実施しました。自主事業では「JR北海道の社員教育用ビデオ」を制作しました。

### (3) 対処すべき課題

当社は第29期(28年度)に内部統制に係る様々な施策に取り組み、社員への浸透を図りました。29年度も内部統制の更なる充実を事業計画の基本方針の1つに掲げ、引き続きガバナンス・コンプライアンスの一層の強化に重点的に取り組みます。

一方、29年度は基盤整備に拍車を掛ける1年と位置付けています。当社は今年度、統合・合併して9年になりますが、本社、各(総)支社の間には統一すべき課題が今なお残されています。制作力をさらに高めて行くことも今後の成長には欠かせません。人材の交流や採用、処遇、さらには働き方改革など、諸課題に取り組むことにより組織を活性化させる必要があります。このため今年度、経営基盤の充実・強化を図るための「プロジェクト」を発足させ、統合・合併10年を迎える来年度をめぐりに、基盤整備を加速させることにしています。

また、29年度はNHKの次期3か年経営計画策定の年であり、NHKグループの今後の方向性に一定の道筋が示される年です。全体最適の最終年度でもあり、NHKグループ及び当社を取り巻く環境は大きな節目を迎えます。これを機に、当社として受託番組・受託事業への的確な対応、NHKグループとして相応しい自主事業の新規開発・開拓に向け、業務遂行体制を今一度検証し、経営体制の整備・充実に重点的に取り組みます。NHKの次期経営計画と歩調を合わせながら、当社の事業、組織の両面において見直しに取り組む1年と位置付け、今年度、当社も次期3か年計画を策定します。前述のプロジェクトで「構造改革」を検討し、次期3か年計画で「成長戦略」を示します。

(4) 設備投資等の状況

当期において実施した設備投資の総額は、8,293千円で、主な内容は、車両の購入2,947千円、デジタルビデオカメラの購入964千円等です。

(5) 財産および損益の状況の推移

区 分	第26期	第27期	第28期	第29期
	(平成26年3月期)	(平成27年3月期)	(平成28年3月期)	(平成29年3月期)
売上高 (千円)	6,867,794	7,042,312	7,810,761	7,002,448
経常利益 (千円)	213,093	223,591	194,277	144,900
当期純利益 (千円)	118,485	122,276	115,504	72,584
1株当たり当期純利益(円)	25,108	25,911	24,476	15,381
総資産 (千円)	3,784,918	3,889,658	3,988,830	3,937,556
純資産 (千円)	2,481,194	2,554,679	2,625,886	2,653,572

(6) 重要な親会社の状況

当社の親会社は日本放送協会であり、同協会は当社の株式を2,462株(議決権比率の52.17%)保有しています。

当社は、同協会からの受託による放送番組などの企画・制作、イベント・展覧会・博覧会などの企画・実施、NHK大阪ホールの管理・運営などを行っています。

(7) 主要な事業内容

- ① NHKの委託による放送番組の企画・制作
- ② 映像ソフト・マルチメディアコンテンツの企画・制作
- ③ イベントの企画・制作
- ④ 展覧会・博覧会の企画・実施
- ⑤ NHK大阪ホールの管理・運営

(8) 主要な事業所

区 分	所 在 地
本社	東京都渋谷区神山町5-20 神山町小川ビル
近畿総支社	大阪府中央区谷町三丁目1-18 NS21ビル
同 四国支社	松山市堀之内5 NHK松山放送局内
中部支社	名古屋市東区東桜一丁目13-3 NHK名古屋放送センタービル
中国支社	広島市中区大手町二丁目11-10 NHK広島放送センタービル
九州支社	福岡市中央区六本松一丁目1-10 NHK福岡放送センタービル
東北支社	仙台市青葉区錦町一丁目10-11 勾当台上杉通りビル
北海道支社	札幌市中央区大通西一丁目 NHK札幌放送局内

(9) 従業員の状況

区 分	従 業 員	NHK出向者等	合 計
男	61名	80名	141名
女	62名	3名	65名
計	123名	83名	206名

2 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 6,000 株  
 (2) 発行済株式の総数 4,719 株  
 (3) 株主数 51 名

株 主 名	持株数	持株比率
日本放送協会	2,462株	52.17%
(株)NHKエンタープライズ	645株	13.67%
(株)NHKグローバルメディアサービス	273株	5.79%
(株)NHKプロモーション	162株	3.43%
(株)NHKメディアテクノロジー	138株	2.92%
(株)NHKエデュケーショナル	108株	2.29%
(株)NHK文化センター	66株	1.40%
(株)NHK出版	66株	1.40%
(株)みずほ銀行	61株	1.29%
(株)NHKアート	56株	1.19%
(株)NHKアイテック	56株	1.19%
(株)三菱東京UFJ銀行	37株	0.78%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	29株	0.61%
学校法人君が淵学園 (株)西日本シティ銀行 (株)福岡銀行 (株)ベスト電器 (株)ふくや 東北電力(株) (株)藤崎	各 24株	各 0.51%
京都府 兵庫県 滋賀県 京都市 神戸市 奈良市 大津市 阪急電鉄(株) 関西電力(株) 京阪ホールディングス(株) 大阪瓦斯(株) 近鉄グループホールディングス(株)	各 20株	各 0.42%
中部電力(株) 東海旅客鉄道(株) 名古屋鉄道(株) トヨタ自動車(株)	各 17株	各 0.36%
(株)ゼンリン	12株	0.25%
(株)北洋銀行	10株	0.21%

株 主 名	持株数	持株比率
福山通運(株) 中国電力(株) 広島ガス(株)	各 6株	各 0.13%
高山市 東邦瓦斯(株) セイノーホールディングス(株) ユニー・ファミリーマートホールディングス(株) スターキャット・ケーブルネットワーク(株) 伊藤組土建(株) 北海道電力(株)	各 5株	各 0.11%
(株)天満屋 (株)福屋 (株)広島東洋カーブ	各 3株	各 0.06%

### 3 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役および監査役の氏名等

地 位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役社長	森 崎 義 人	
専務取締役	井 上 利 丸	近畿総支社長
常務取締役	河 村 秀 世	本社経営企画室長
取締役（非常勤）	渥 美 哲	NHK首都圏放送センター長
取締役（非常勤）	行 成 博 巳	NHK関連事業局 専任部長
取締役（非常勤）	佐 藤 幹 夫	株式会社NHKエンタープライズ専務取締役
取締役（非常勤）	畠 山 経 彦	株式会社NHKプロモーション取締役
監査役	大 月 将 幸	弁護士・公認会計士
監査役（非常勤）	古 椀 裕 章	株式会社みずほ銀行 営業第十八部次長
監査役（非常勤）	柳 田 祐 子	NHK内部監査室監査部主幹

- (注) 1. 平成28年6月29日付で、渥美 哲、行成 博巳が取締役に、大月 将幸、柳田 祐子が監査役に就任しました。
2. 平成28年6月29日付で、小野 昭一が取締役を、行成 博巳が監査役を辞任しました。

#### (2) 取締役および監査役の報酬等の額

対象者	人数	報酬の額
取締役	3名	47,328千円
監査役	1名	6,381千円

- (注) 1. 使用人兼務取締役の使用人分給与はありません。
2. 株主総会決議による取締役に対する報酬限度額は、年額100,000千円であります。

## 4 会社の体制及び方針

(1) 当社の業務の適正を確保するための体制の整備について、取締役会で決議した内容は次のとおりです。

### ①取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

取締役は、職務の執行が法令・定款に適合することを確保するため、職務分担に従い、諸規則、規程等を整備し、社内でその周知・徹底を図る。取締役会規則を遵守し、取締役間の意思疎通を図るとともに相互の業務執行を監督し、監査役はこの内部統制に関する体制の有効性と機能を監視し、課題の早期発見と是正に努める。

### ②取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

関連規程を整備し、取締役の職務執行に係わる情報を、文書で適切に保存する。取締役及び監査役は、規程により、必要な時には何時でもこれらの文書を閲覧できる。

今年度も引き続き文書管理規程等に基づき、各会議の議事録等の文書を作成・保管し、監査役に対しては期中監査・期末監査を通じて閲覧の用に供した。

### ③損失の危険の管理に関する規程その他の体制

代表取締役社長をリスク管理統括責任者とし、事業活動に伴う重大なリスクの顕在化を防ぎ、万一リスクが顕在化した場合の損害を最小限にとどめるためのリスク管理体制を整備して、その適切な運用・管理にあたる。

### ④取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会において、各取締役の業務分担を明確にし、各機関及び各職位の権限等を規程に定めて、会社の意思決定及び執行を効率的かつ適正に行う。取締役会で経営資源の配分を決定し、年度事業計画により具体的な経営目標を定め、常勤役員会でその進捗状況を分析して、各部門が実施すべき具体的施策を検討し、効率的業務を遂行する。

### ⑤使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

諸規則・規程・「倫理・行動憲章」等マニュアルなどを周知徹底し、遵守させることによって、法令及び定款に違反する行為の未然防止を図る。

### ⑥会社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

親企業であるNHKのコンプライアンス体制と連携しつつ業務の適正を確保する。

### ⑦監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項

監査役は、その職務を補助するために使用人が必要な場合、本社経営企

画室の使用人に監査業務に必要な事項を命令することができる。

⑧前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役より監査業務に必要な命令を受けた使用人は、その命令に関して、取締役等の指揮命令を受けない。

⑨取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

監査役は、重要な意思決定のプロセスや業務の執行状況を把握するため、取締役会その他の重要な会議に出席するとともに、決裁書類等の業務執行に係わる重要な文書を開覧し、必要がある場合にはいつでも取締役及び使用人に説明を求めることができる。

取締役は会社に重大な影響を及ぼす事実を発見した時は直ちに監査役に報告する。

⑩その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役は、取締役と必要に応じて会合を持ち、監査上の重要課題の意見及び情報の交換を行い、監査の実効性の確保を図る。

また、この取締役会決議を適切に実行するため、「株式会社NHKプラネット倫理・行動憲章と行動指針」を定めて、その遵守を図るほか、取締役会規則、常勤役員会規則、コンプライアンス推進計画、文書管理規程などの諸規程の制定・整備、コンプライアンス推進委員会の設置、取締役会議事録、常勤役員会議事録の整備などに努めています。さらに、当社の親会社であるNHKを中核とする企業集団の業務の適正性の確保のため、当社でもNHKの定めた「NHK倫理・行動憲章」「関連団体運営基準」などに従って、適正な業務運営に努めています。

(2) 運用状況の概要

当社の取締役会は、取締役7名（うち、非常勤取締役4名）で構成されており、当期は9回開催しました。社外監査役2名を含む3名の監査役も出席し、取締役が業務執行状況を報告するとともに重要事項の審議・決議を行っています。また、当期は経営監視機能の強化および向上を図るため、初めて常勤監査役を任用しました。常勤監査役は、取締役会のほか常勤役員会等の社内の重要会議にほぼ全て出席するとともに、取締役より業務執行の状況について報告を受け、業務執行の状況や内部統制、コンプライアンスに関する問題点を監視する体制を整備しています。

コンプライアンスに関する取り組みの状況では、7月にコンプライアンス規程を制定・施行するとともに、常勤役員会の開催に合わせ、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を開催し、コンプライアンスやリスクマネジメントに関する報告や決定を行っています。また、当社独自の内部

監査機能としての取り組みである「支社間相互モニタリング」を四国、東北両支社で実施し、業務プロセスを検証する「ウォークスルー」を近畿総支社で行いました。このほか、本社と4つの(総)支社を対象に行われたNHKの内部調査において、指摘された事項については全社で共有するなど、内部統制の強化につなげました。

### (3) 全社的內部統制の評価

全社的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」の6つの観点から整備状況及び運用状況の有効性を評価した結果、平成29年3月31日時点における当社の内部統制は、概ね有効であると判断しました。